

Hervé LE BRAS (EHES)

エルヴェ・ル・ブラズ氏 (フランス国立社会科学高等研究院)

La chute des partis politiques français et l'ascension du président Macron

フランス伝統的諸政党の凋落とマクロン大統領の就任

近年のフランスでは極右政党・国民戦線が高い得票率を記録している。それは伝統的諸政党の連鎖的な混乱や組織崩壊をもたらした。予備選挙の導入、「純粋な」右翼および左翼を標榜する候補者たちの登場、幅広い中道空間の出現もその状況に由来する。

プロレタリア的左派と資本主義的右派とが対峙するのが、フランス政治における伝統的な対立軸であった。その軸は、今回の大統領選ではメランション候補とフィヨン候補によって代表されていた。だが今回は、もうひとつの軸がその軸に重なっていた。マクロンとルペンを対立させた開放／閉鎖もしくはグローバル化／ナショナリズムという軸である。この構図は、社会民主主義的な左派と、キリスト教的中道派、民主運動 (MODEM) へと改編された人民共和派 (MRP) が接近するという長期にわたる傾向によって可能となった。



講演では、

- 1) 詳細な地図をもとにこの推移を跡づけ、大統領選挙における勢力関係を確認したい。
- 2) 上記の状況は、それを十全に活用しうる人物を待望していた。マクロン氏の経歴を検証し、彼こそまさしくその人物であったことを示したい。
- 3) この推移を他の先進国における近年の推移と比較してみたい。

日時：2017年6月23日(金) 18時～19時45分

場所：東京大学駒場キャンパス KIBER 3階 314教室

アクセス：<http://www.c.u-tokyo.ac.jp/info/about/visitors/maps-directions/index.html>

入場無料、予約不要

使用言語：フランス語 (通訳付)

主催：「トランスナショナルな紐帯を保持する移民のホスト社会への編入～三つの最新事例～」(科学研究費補助金 基盤 B 15H03131)

後援：日仏会館フランス事務所、トライリンガル・プログラム (TLP) フランス語